



No.042 英語発信力は国力 今までいいのか？



言いたいことは山ほどあるのに外国人とディスカッションしていく言葉がうまく出てこないもどかしさ！これは結構つらいものがあります。

しかしアジア人でもアフリカ人でも言いたいことをわかってもらうには英語。特にビジネスの世界では、いかに国の人口が多くても中国語やスペイン語が世界共通語になることはありません。

国際会議でもビジネスでも英語での交渉力がなければ勝負に負けてしまう。英語でアピールしない限りいないのと同じ。もちろん素晴らしい発信できる日本人もいます。でもあまりに少ない。

やや独断ですが40年ぐらい前、多くの日本人と韓国人は海外の語学学校の隅で小さくなっていました。ところが1997年の通貨危機以来、韓国の若者の英語力と自己表現力は格段に高まった感じがします。

逆に日本人はますます内向きになって、身内の自己賛美傾向ばかり強まっている感じ…

小学校での英語教育や大学入試センターの民間試験導入見送りなど、最近いろいろ話題になっています。ただ議論がミクロな世界に入り込んで、そもそもなぜ英語教育を改革するのか見失いそうです。

何のために英語を学ぶのか？ ほんとは言いたいことを外国人に伝える能力を高めたい、しかし外国人など縁がないと思っている人たちにとっては試験そのもの、成績の付け方や試験のやり方の方が重要なのかもしれません。子供たちにとってそれでいいとは到底思えませんが。